

メネストレル主催

若手研究セミナー 《中世学のネットワークとツール》

国際シンポジウム 《中世における文化交流—対話から文化の生成へ—》

日時：2017年11月17日（金）～19日（日）

場所：大和 文華館（奈良県）

事前登録・問い合わせ先：menestrel2017@yahoo.co.jp

※メネストレル (<http://www.menestrel.fr/>) は、中世学者の国際的な組織です。活動内容については、以下をご参照ください：
「メネストレル：中世学のネットワークとツール」『西洋中世研究』第7号,知泉書館,2015年

プログラム

※最終版欧文プログラムは、以下をご参照ください：<http://www.menestrel.fr/spip.php?rubrique1439&lang=fr>

2017年11月17日（金）

9:00 東大寺見学

11:00 大和文華館特別企画展《書の美術—経典・古筆切・手紙—》（案内：古川攝一学芸員）

12:00 昼食（於：祥楽）

若手研究セミナー 《中世学のネットワークとツール》（要事前登録）

※無料でご参加いただけますが、大和文華館への入場料（620円）が必要となります。なお、事前登録は9月30日から開始し、定員150名に達し次第、締め切らせて頂きます。全発表言語は英語で、質疑応答のみ通訳があります。

13:30 **Presentation of the Méneſtreſel Network and Website**

Christine DUCOURTIEUX, パリ西洋中世史研究所-フランス国立パリ第1パンテオン・ソルボンヌ大学 研究技術員 & Isabelle DRAELANTS, フランス国立文献史研究所 - フランス国立科学研究センター 研究ディレクター

13:50 **Presentation of the “Medievalists on the Map” Section of the Méneſtreſel Website**

Hanno WIJSMAN, フランス国立文献史研究所 - フランス国立科学研究センター 教育技術員

14:00 **Presentation of the “Thematic Repertory” Section of the Méneſtreſel Website: the Example of the “Food” Page**

Aude MAIREY, パリ西洋中世史研究所 - フランス国立科学研究センター 研究ディレクター & Alban Gautier, カーン・ノルマンディー大学 - フランス大学院 教授

14:15 **Presentation of the Méneſtreſel Series “On the Use of...in Medieval History”**

Benoît GREVIN, パリ西洋中世史研究所-フランス国立科学研究センター 研究ディレクター

14:30 **Presentation of the “Primary Sources and Resources” Section of the Méneſtreſel Website**

Anne-Sophie TRAINAU-DUROZOY, ポワチエ大学図書館 司書

14:45 質疑応答

通訳：井野崎千代子, 大阪産業大学 兼任講師

14:55 休憩

15:10 **Current Developments in Paleography : From the History of Scripts to a Global History of Writing Systems ?**

Marc SMITH, フランス国立古文書学校 教授 - 国立高等研究実習院 教育ディレクター

15:30 **Digital Paleography: From Technical to Epistemological Challenges (New Tools and New Research Questions)**

Dominique STUTZMANN, フランス国立文献史研究所 - フランス国立科学研究センター 研究員

15:50 **Web Tools and Databases in the Field of the History of Medieval Manuscripts and Texts: Some Existing Instruments and New Perspectives**

Hanno WIJSMAN, フランス国立文献史研究所 - フランス国立科学研究センター 教育技術員

16:10 **Presentation of the SHMESP (Society of Medieval Historians in French Public Higher Education)**

- Aude MAIREY, パリ西洋中世史研究所 - フランス国立科学研究センター 研究ディレクター
- 16:30 **Presentation of the SLLMOO (Society of Medieval Language and Literature in Langue d'Oc and Langue d'Oïl)**
Joëlle DUCOS, フランス国立パリ第4ソルボンヌ大学 教授
- 16:50 **質疑応答**
通訳: 井野崎千代子, 大阪産業大学 兼任講師
- 17:00 **閉会**
- 19:00 **懇親会 (於: KOTOWA)**
※発表者、司会者、通訳・翻訳者、ポスター制作者のみ

2017年11月18日(土)

国際シンポジウム 《中世における文化交流—対話から文化の生成へ—》 (要事前登録)

※無料で御参加いただけますが、大和文華館への入場料(620円)が必要です。なお、事前登録は9月30日から開始し、定員150名に達し次第、締め切らせて頂きます。発表原稿の翻訳入手方法につきましては、参加者に別途ご案内させていただきます。

- 10:00 **受付**
- 10:30 **大和文華館の紹介 (日本語)**
古川攝一, 大和文華館 学芸員
(翻訳: 有田豊, 立命館大学 嘱託講師)
- 10:45 **イントロダクション (仏語)**
Christine DUCOURTIEUX, パリ西洋中世史研究所・フランス国立パリ第1パンテオン・ソルボンヌ大学 研究技術員
(翻訳: 有田豊, 立命館大学 嘱託講師)
- 11:00 **研究発表1: 文化交流としての宗教活動 (司会: 小澤実, 立教大学 准教授)**
- 11:05 **南宋宮廷コレクションと仏教世界の再生——士大夫社会の変容—— (日本語)**
塚本麿充, 東洋文化研究所 - 東京大学 准教授
(翻訳: 田辺めぐみ, 帝塚山学院大学 兼任講師 & Rémy CORDONNIER, CNRS・リール第3大学 助教)
- 11:35 **文化交流としてのキリスト教への改宗 (英語)**
Alban GAUTIER, カーン・ノルマンディ大学 - フランス大学学院 教授
(翻訳: 成川岳大, 立教大学 兼任講師)
- 12:05 **質疑応答**
- 12:20 **昼食 (於: 祥楽)**
- 14:00 **研究発表2: 異文化へのまなざし (司会: 蛭川順子, 関西大学 教授)**
- 14:05 **中世日本人の外国人観 (英語)**
伊川健二, 早稲田大学 准教授
(翻訳: 伊川健二)
- 14:35 **窓口としての図書館 ——ブルゴーニュ公と東方という魅惑—— (英語)**
Hanno WIJSMAN, フランス国立文献史研究所 - フランス国立科学研究センター 教育技術員
(翻訳: 佐藤龍一郎, 東京大学 博士課程)
- 15:05 **質疑応答**
- 15:20 **休憩**
- 15:35 **研究発表3: 文学にみる文化交流のかたち (司会: 黒岩卓, 東北大学 准教授)**
- 15:40 **13-14世紀の写本に見るイタリア=フランス語 ——人工言語、混成言語、あるいは接触言語?—— (仏語)**
Anne ROCHEBOUET, ヴェルサイユ・サンカンタン・アン・イヴリーヌ大学 准教授
(翻訳: 島崎利夫, 東京大学 博士課程)
- 16:10 **英仏の和平を求めて ——ジョン・ガワーとフィリップ・ド・メジエールの教訓的書簡—— (英語)**

小林宜子, 東京大学 教授
(翻訳: 小林宜子)

16:40 質疑応答

17:00 閉会

19:00 懇親会 (於: 奈良国立博物館内、葉風泰夢)

※なら仏像館は 20 時まで開館しておりますので、懇親会開始時間までご利用できます。なお、懇親会 (参加費 5000 円) への参加受付は、10 月末日までとさせていただきます。奈良の地酒も楽しめますので、ふるってご参加ください。

2017 年 11 月 19 日 (日)

国際シンポジウム《中世における文化交流—対話から文化の生成へ—》(要事前登録)

※無料で御参加いただけますが、大和文華館への入場料 (620 円) が必要です。なお、事前登録は 9 月 30 日から開始し、定員 150 名に達し次第、締め切らせて頂きます。発表原稿の翻訳入手方法につきましては、参加者に別途ご案内させていただきます。

10:00 パネル: 西欧中世と日本中世比較研究の可能性

10:00 イントロダクション

Benoît GREVIN, パリ西洋中世史研究所 - フランス国立科学研究センター 研究ディレクター

10:15 西欧—日本の交差するまなざし—君主と戦士貴族の印章— (仏語)

Ambre VILAIN, フランス国立ナント大学 教育研究補助員

(翻訳: 頼順子, 佛教大学 兼任講師)

10:40 家紋とアルモワリ—比較標章学の一例— (仏語)

Laurent HABLLOT, フランス国立高等研究実習院 教育ディレクター

(翻訳: 江川温, 大阪大学 名誉教授)

11:05 休憩

11:20 一揆/同盟 —中世日本とヨーロッパにおける結合の言語と表象— (英語)

Serena FERENTE, ロンドン大学キングスカレッジ 専任講師 & 佐藤公美, 甲南大学 教授

(翻訳: 佐藤公美)

11:50 比較史における宗教と戦争 —「長い中世」の日本と西欧— (英語)

Philippe BUC, ウィーン大学 教授

(翻訳: 斉藤恵太, 京都教育大学 専任講師)

12:20 『ローランの歌と平家物語』—比較研究の可能性について— (仏語)

Benoît GREVIN, パリ西洋中世史研究所 - フランス国立科学研究センター & 黒岩卓, 東北大学

(翻訳: 黒岩卓)

12:50 質疑応答

13:00 昼食 (於: 祥楽)

14:30 研究発表 4: 比較研究のさきに (司会: 稲賀繁美, 国立国際日本文化研究センター 副所長)

14:35 マンドレイクの採取法 —中世ヨーロッパ・中東・中国における知識の往還— (英語)

山中由里子, 国立民族学博物館 准教授

(翻訳: 山中由里子)

15:05 中世東洋における教訓物語—ThEMA (中世教訓逸話集シソーラス) データベースにおける索引化のための批判的アプローチ要素— (仏語)

Jacques BERLIOZ, 社会科学高等研究院・フランス国立科学研究センター 研究ディレクター

(翻訳: 室崎知也, 独立研究者)

15:35 日欧の中世軍事文化の比較史 (仏語)

堀越宏一, 早稲田大学 教授

(翻訳: 堀越宏一)

16:05 休憩

16:20 質疑応答

16:45 結論

Isabelle DRAELANTS, フランス国立文献史研究所 - フランス国立科学研究センター

17:00 閉会

後援：日本フランス語フランス文学会

ネーデルラント美術研究会

西洋中世学会

奈良県

協賛：公益財団法人西洋美術振興財団

助成：吉野石膏美術振興財団

鹿島美術財団

笹川日仏財団

村田学術財団

野村財団

協力：大和文華館

国際叙事詩学会日本支部

国際アーサー王学会日本支部

関西中世史研究会

奈良県ビジターズビューロー

顧問・監査：江川温（大阪大学 名誉教授）

ポスター・チラシ制作：本橋瞳（立教大学 研究員）

準備委員：Hanno WIJSMAN（フランス国立文献史研究所 - フランス国立科学研究センター）

Christine DUCOURTIEUX（パリ西洋中世研究所 - フランス国立パリ第一パンテオン・ソルボンヌ大学）

Isabelle DRAELANTS（フランス国立文献史研究所 - フランス国立科学研究センター）

Benoît GREVIN（パリ西洋中世研究所 - フランス国立科学研究センター）

Alban GAUTIER（カーン・ノルマンディ大学 - フランス大学学院）

田辺めぐみ（帝塚山学院大学）

《メネストレル講演先一覧》

今秋来日するメネストレルのメンバーの内、以下4名が日本の研究者との交流を目的として別途講演を望み、それぞれ受け入れ先が決定している。

講演者

Hanno WIJSMAN

（フランス国立文献史研究所 - フランス国立科学研究センター）

Alban GAUTIER

（カーン・ノルマンディ大学 - フランス大学学院）

Philippe BUC

（ウィーン大学）

Benoît GREVIN

（パリ西洋中世史研究所 - フランス国立科学研究センター）

講演受け入れ先

蜷川順子

（関西大学）

小澤実

（立教大学）

山中由里子

（国立民族学博物館）

黒岩 卓

（東北大学、早稲田大学）